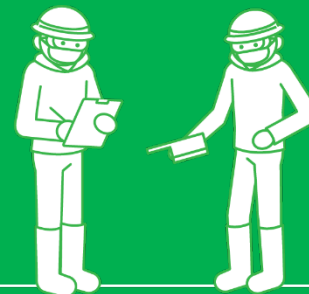


# 特定帰還居住区域における 空間線量率の推移について

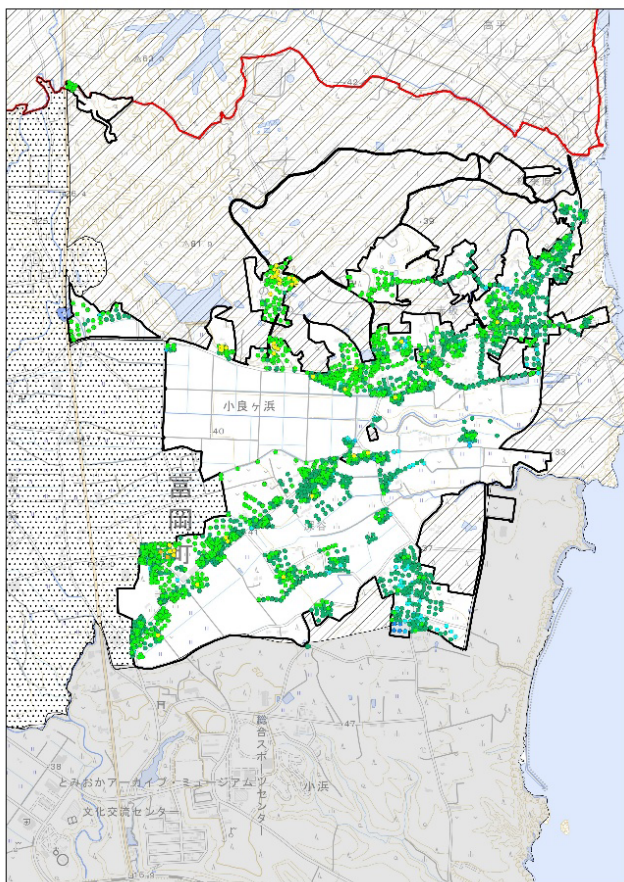
令和8年2月13日 環境省 福島地方環境事務所



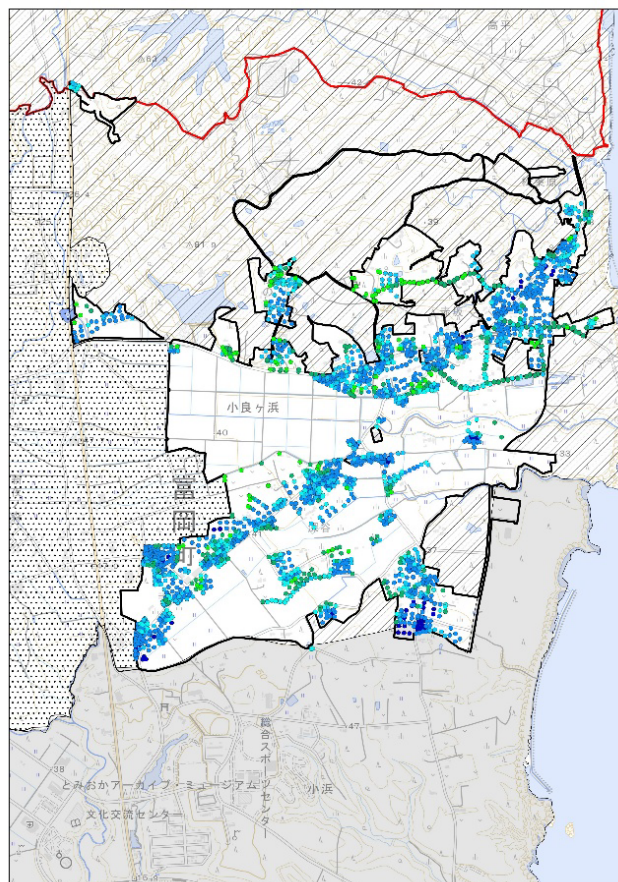
# 特定帰還居住区域における空間線量率 ～線量率ポイントマップ～

## 【空間線量率 地表から100cm ポイントマップ】 (n=2,977)

【除染前】



【最新】



空間線量率100cm( $\mu$ Sv/h)

- 0.23以下
- 0.23より大きく0.5以下
- 0.5より大きく0.75以下
- 0.75より大きく1.0以下
- 1.0より大きく1.9以下
- 1.9より大きく3.8以下
- 3.8より大きく5.7以下
- 5.7より大きく9.5以下
- 9.5より大きく19以下
- 19より大きい

- ▭ 特定帰還居住区域
- ▭ 特定復興再生拠点区域
- ▭ 解除済区域(旧居住制限区域)
- ▭ 帰還困難区域
- ▭ 市町村界\_大熊

※測定時期 除染前：2022年6月2日～2025年11月26日、最新（除染後または事後）：2022年10月10日～2025年12月22日

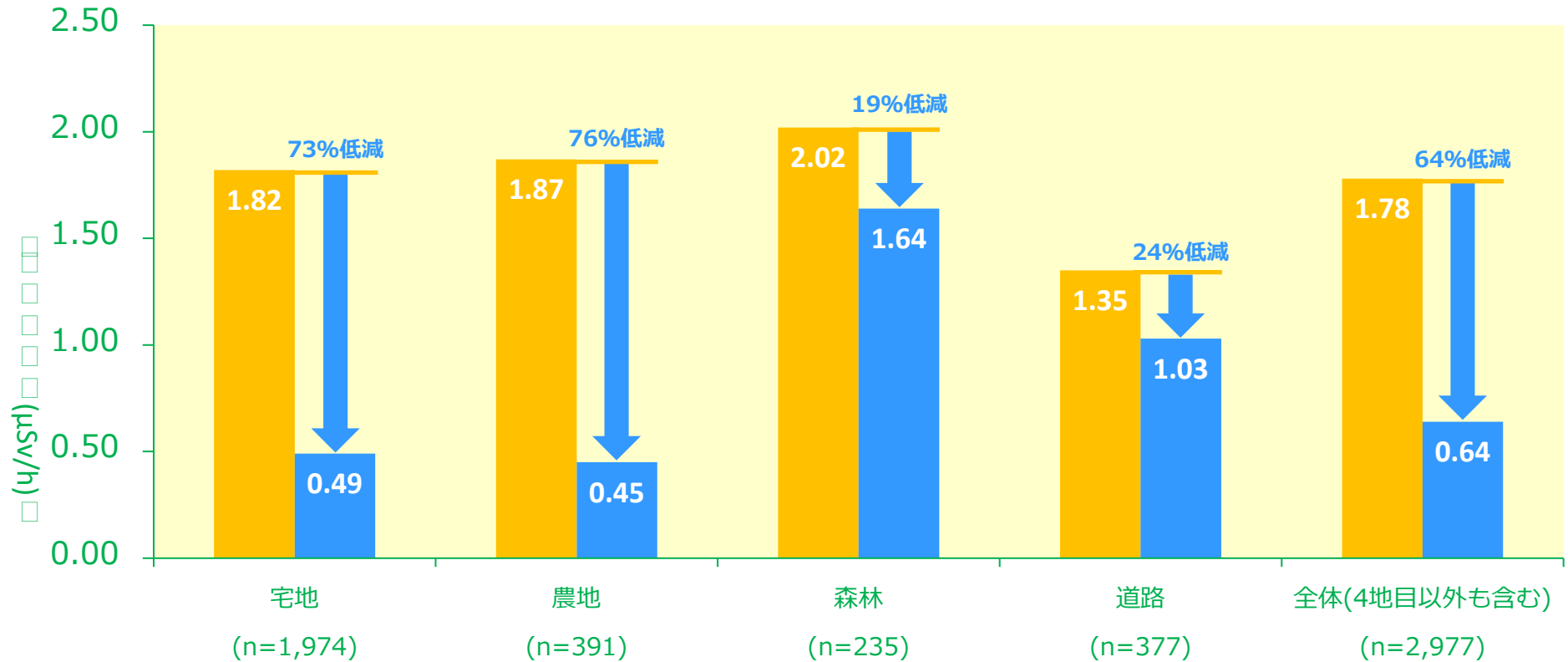
※各時点と比較するため、除染前・最新（除染後または事後）の測定値が全て揃ったデータのみを使っています。

※隣地に未除染の土地があり、高い数値を表示する場合があります。

※空間線量率には、大地（含大気）の自然放射性核種からの放射線影響が含まれます。

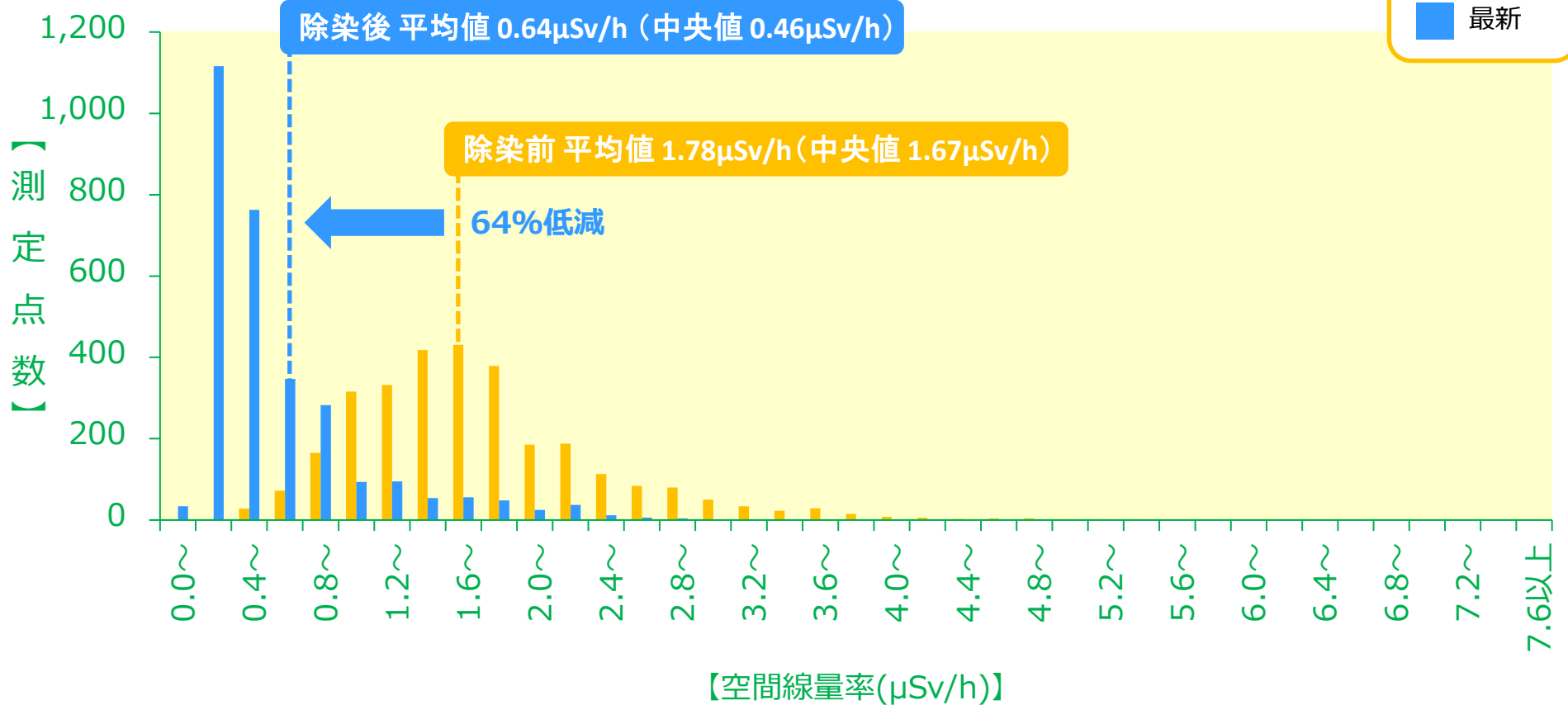
## 【空間線量率 地表から100cm 平均値】

■ 除染前  
■ 最新



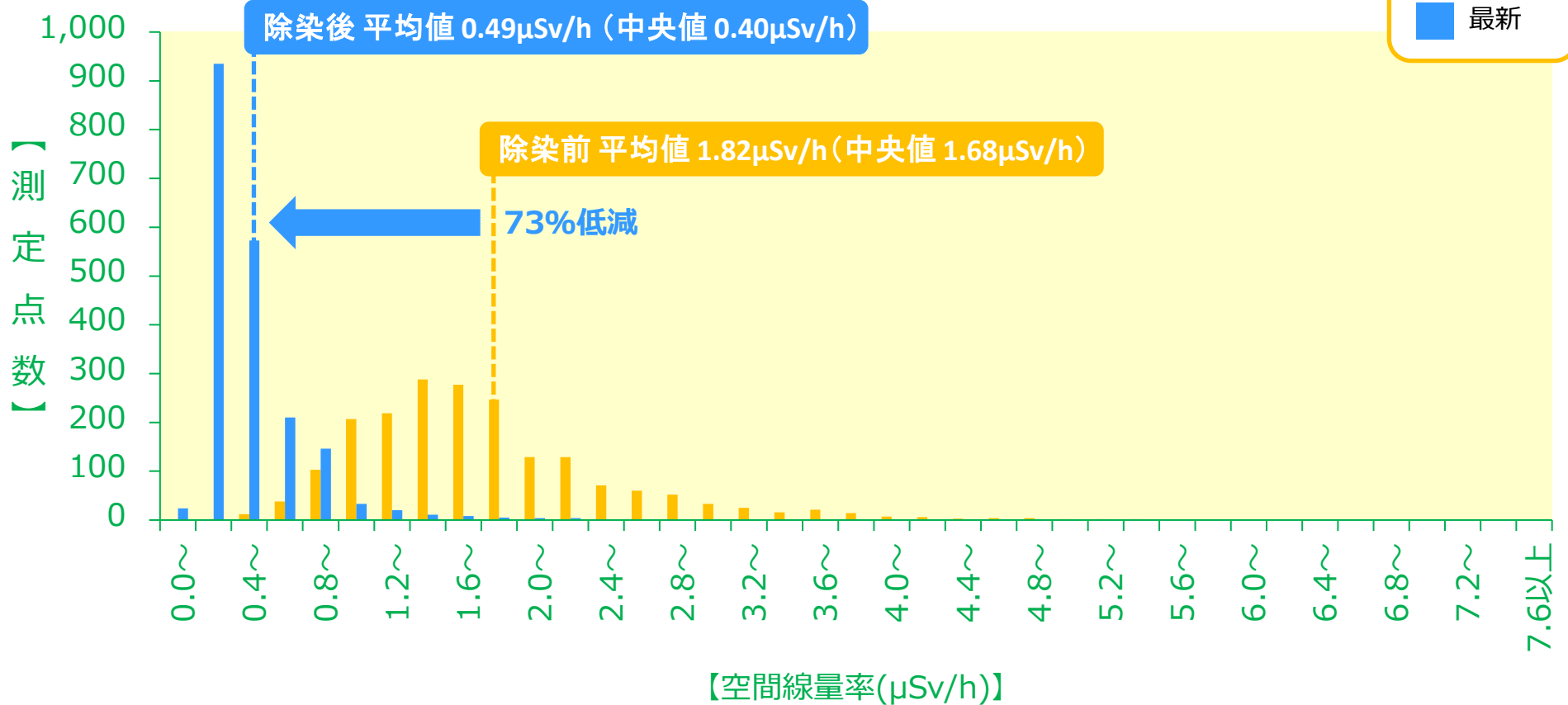
※測定時期 除染前：2022年6月2日～2025年11月26日、最新（除染後または事後）：2022年10月10日～2025年12月22日  
 ※各時点を比較するため、除染前・最新（除染後または事後）の測定値が全て揃ったデータのみを使っています。  
 ※隣地に未除染の土地があり、高い数値を表示する場合があります。  
 ※空間線量率には、大地（含大気）の自然放射性核種からの放射線影響が含まれます。

## 【空間線量率 地表から100cm 全体】 (n= 2,977)



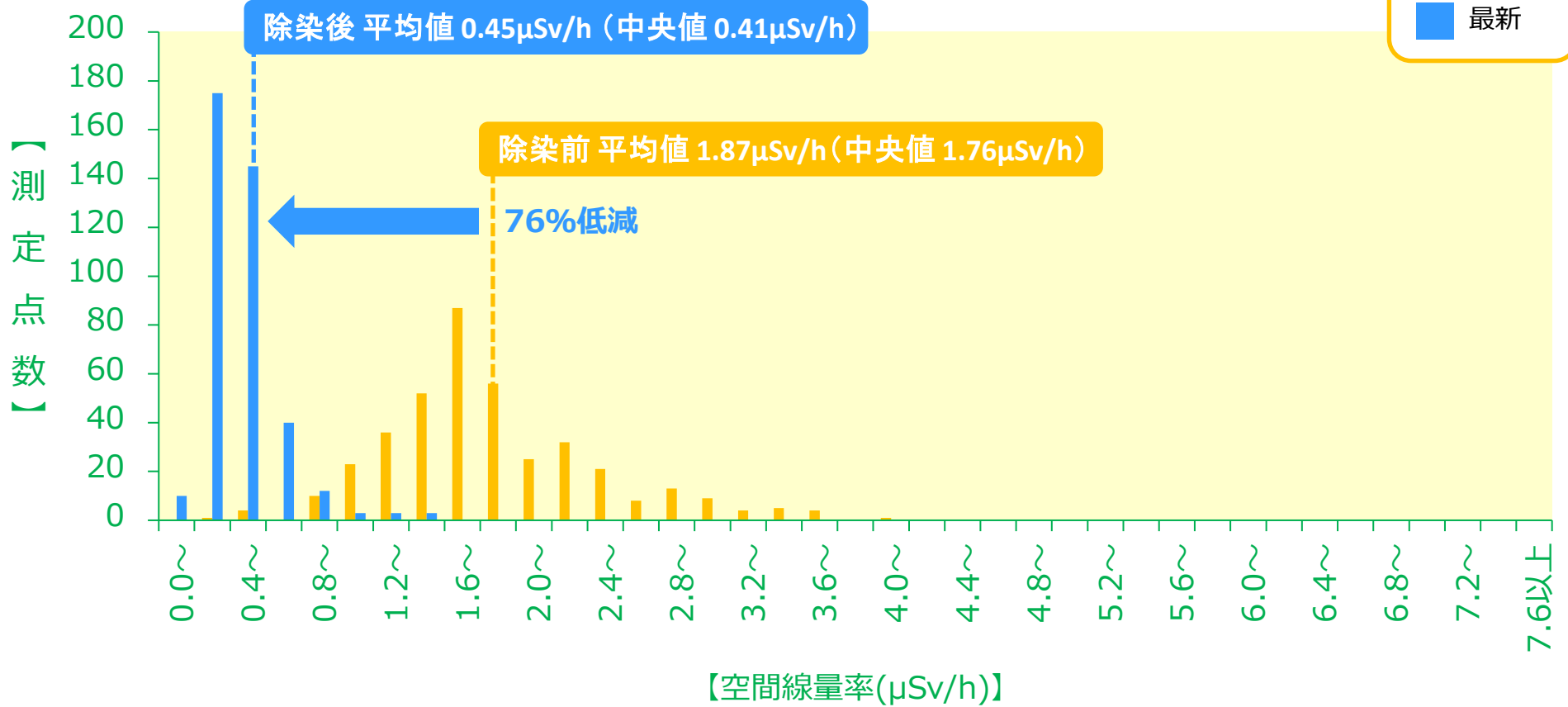
※測定時期 除染前：2022年6月2日～2025年11月26日、最新（除染後または事後）：2022年10月10日～2025年12月22日  
 ※各時点を比較するため、除染前・最新（除染後または事後）の測定値が全て揃ったデータのみを使っています。  
 ※隣地に未除染の土地があり、高い数値を表示する場合があります。  
 ※空間線量率には、大地（含大気）の自然放射性核種からの放射線影響が含まれます。

## 【空間線量率 地表から100cm 宅地】 (n=1,974)



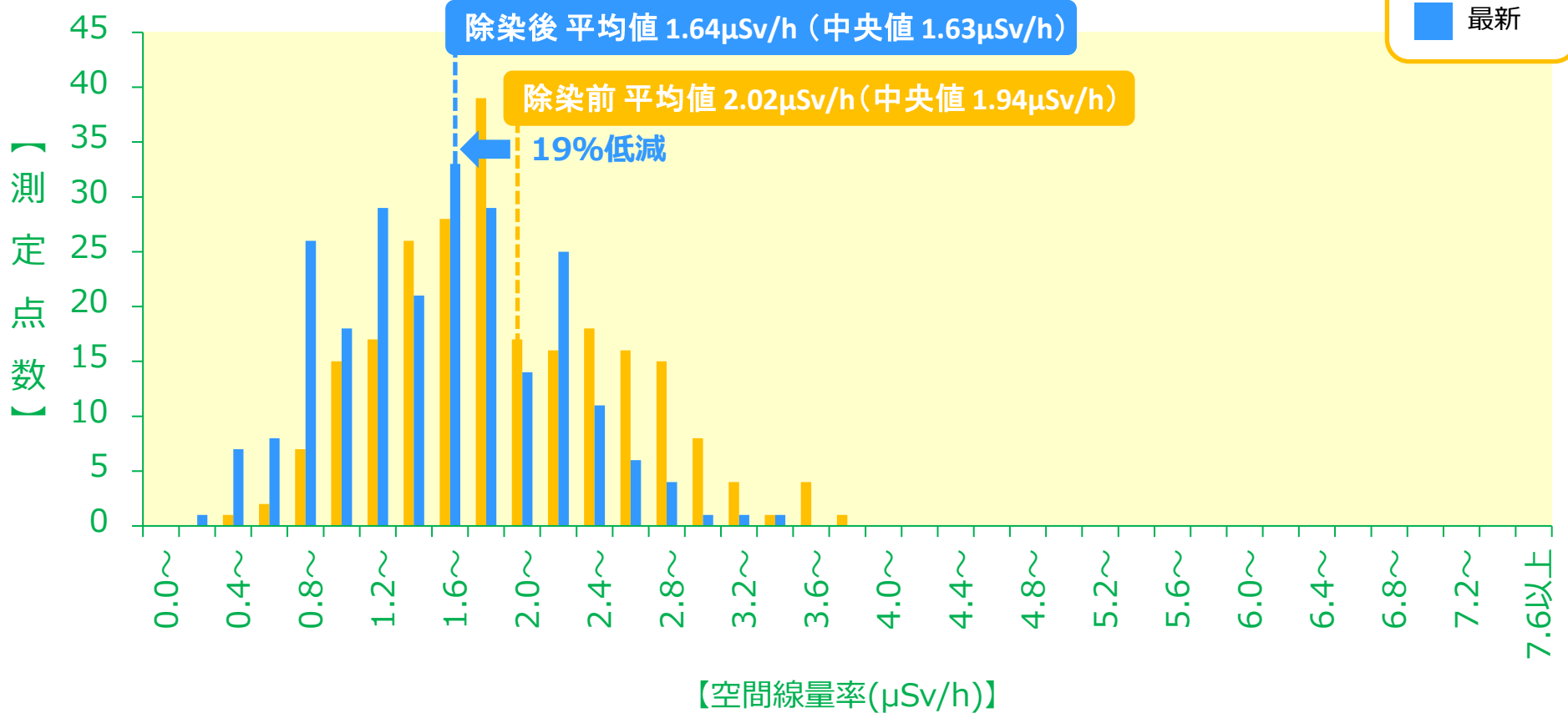
※測定時期 除染前：2022年6月2日～2025年11月26日、最新（除染後または事後）：2022年10月10日～2025年12月22日  
 ※各時点を比較するため、除染前・最新（除染後または事後）の測定値が全て揃ったデータのみを使っています。  
 ※隣地に未除染の土地があり、高い数値を表示する場合があります。  
 ※空間線量率には、大地（含大気）の自然放射性核種からの放射線影響が含まれます。

## 【空間線量率 地表から100cm 農地】 (n=391)



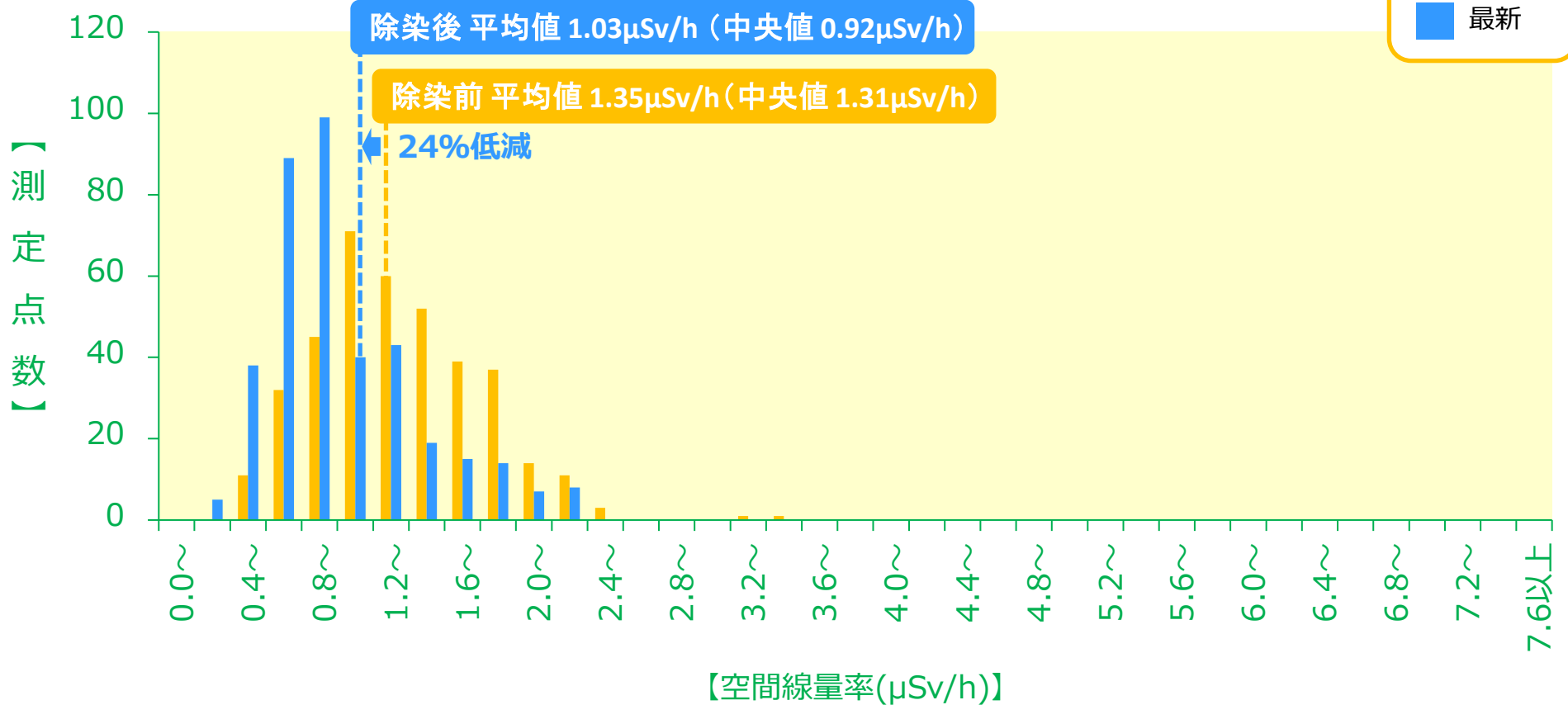
※測定時期 除染前：2022年9月15日～2025年9月22日、最新（除染後または事後）：2023年7月6日～2025年12月19日  
 ※各時点を比較するため、除染前・最新（除染後または事後）の測定値が全て揃ったデータのみを使っています。  
 ※隣地に未除染の土地があり、高い数値を表示する場合があります。  
 ※空間線量率には、大地（含大気）の自然放射性核種からの放射線影響が含まれます。

【空間線量率 地表から100cm 森林】 (n=235)



※測定時期 除染前：2022年9月15日～2025年11月20日、最新（除染後または事後）：2022年10月24日～2025年12月22日  
 ※各時点を比較するため、除染前・最新（除染後または事後）の測定値が全て揃ったデータのみを使っています。  
 ※隣地に未除染の土地があり、高い数値を表示する場合があります。  
 ※空間線量率には、大地（含大気）の自然放射性核種からの放射線影響が含まれます。

## 【空間線量率 地表から100cm 道路】 (n=377)



※測定時期 除染前：2023年7月13日～2025年10月29日、最新（除染後または事後）：2023年9月25日～2025年11月28日  
 ※各時点を比較するため、除染前・最新（除染後または事後）の測定値が全て揃ったデータのみを使っています。  
 ※隣地に未除染の土地があり、高い数値を表示する場合があります。  
 ※空間線量率には、大地（含大気）の自然放射性核種からの放射線影響が含まれます。

## ■調査目的

事後モニタリング調査は、除染前後と比較するため、数カ所の測点で行っている。

特定帰還居住区域は線量が比較的高い場合があることから、生活圏の線量が確実に低減できているかを確認するため、測点と測点の間の線量低減効果を面的に確認する必要があるとの意見を受けて、詳細モニタリングを行った。

## ■調査手法

- 事後モニタリング対象筆のうち宅地部分のある45画地を対象とした。
- 測定には歩行サーベイ測定器（ガンマプロッタ）を使用し、ルート上の測定間隔は1mを基本として、1m高さと5cm高さの線量を測定した。



(左) 詳細モニタリング調査の様子 (右) 測定機器

## ■調査結果

- 全ての画地において面的に線量が低減できていることが確認できた。
- 今後も詳細モニタリングにより、宅地の線量が面的に低減していることを確認していく。